

県内の集約化・均てん化のための 院内がん登録データの集計方法

国立がん研究センターがん対策研究所

がん登録センター 利活用推進室

はじめに

データ提供の根拠

院内がん登録の実施に係る指針（平成二十七年十二月十五日厚生労働省告示第四百七十号）に基づき、国立がん研究センターが収集・提供している院内がん登録症例集計データを、院内がん登録全国収集データ提供規程（令和5年4月1日規程第25-5号）に沿って、厚生労働省の依頼に基づいて集計したものです。

データ提供履歴

2025年9月24日

データセットA, B, C, Dを初回配布

データセットA, Dは、**病期分類（ステージ）**を集計する対象である、主に上皮性のがんを分類して計算した結果が表示される。

11月5日

データセットA, D（部位追加版）を追加配布

データセット（部位追加版）は、**病期分類（ステージ）**集計対象に含まれていない血液腫瘍も分類に含め、計算した結果が表示される。

はじめに

データセットの構成

- A 基本情報（性、年齢、症例区分別）別 初回配布・追加配布あり
- B UICC TNM分類の治療前ステージ、術後病理学的ステージ、総合ステージ別
- C 治療方法別
- D 患者住所二次医療圏別 初回配布・追加配布あり

データを解釈する際の注意点

- 院内がん登録情報を用いているため、全治療例が登録されているわけではない。
- あくまで、施設ベースの現状を把握するためのデータである。
- データセットA, Dについては、病期分類（ステージ）に関わる検討をする際は初回配布版、血液腫瘍を含めた分類で症例数をみる際は追加配布版が活用に適している。

分析方法の一例 その1

分析の目的

自県の集約化を検討するにあたって、

診断から5カ月以内の症例（症例区分①）において、拠点・非拠点病院の自施設診断症例の割合を比較する。

分析の手順

- ① 目的に適したデータが含まれる、データセット・表を、A～Dから選択する。
- ② 目的に沿った表が閲覧できるように、データ項目を選択し表を更新する。
- ③ 更新した表から、各施設の現状等を把握する。

症例区分①, ②とは

- 症例区分①は、診断から5カ月以内の症例。
- 症例区分②は、治療の実施日が診断から5カ月（155日）を超えていた場合、当該治療を実施していなかったとする（造血器系腫瘍は除く）。

21：自施設診断・自施設初回治療継続例 ► 10：診断のみ

31：他施設診断・自施設初回治療継続例 ► 80：その他

集計の一例 その1

① 目的に適したデータセットを、A～Dから選択する。

- A 基本情報（性、年齢、症例区分別）別 初回配布・追加配布あり
- B UICC TNM分類の治療前ステージ、術後病理学的ステージ、総合ステージ別
- C 治療方法別
- D 患者住所二次医療圏別 初回配布・追加配布あり

データセットA 「A_基本図表」 シート 上から4つ目の表

都道府県	48_X県 (すべて)	20_自施設診断・自施設初回治療開始	21_自施設診断・自施設初回治療継続	30_他施設診断・自施設初回治療開始	31_他施設診断・自施設初回治療継続	40_初回治療開始後	80_その他	総計
部位	(すべて)							
施設種別	(すべて)							
合計 / 件数	症例区分①	20_自施設診断・自施設初回治療開始	21_自施設診断・自施設初回治療継続	30_他施設診断・自施設初回治療開始	31_他施設診断・自施設初回治療継続	40_初回治療開始後	80_その他	総計
施設名	▼ 10_診断のみ	20_自施設診断・自施設初回治療開始	21_自施設診断・自施設初回治療継続	30_他施設診断・自施設初回治療開始	31_他施設診断・自施設初回治療継続	40_初回治療開始後	80_その他	総計
001_A県立病院	748	2401	14	729	146	915	212	5165
002_B済生会病院	656	3307	53	886	123	183	69	5277
004_D市立病院	785	3090	12	635	230	442	114	5308
005_E大学医学部附属病院	1261	2594	257	579	197	936	237	6061
006_F赤十字病院	570	1444	112	396	57	56	14	2649
007_G個人病院	258	310	13	14	13	379	81	1068
008_医療法人H病院	363	510	84	84	143	420	75	1679
009_J町立病院	340	850		96	41	463	13	1803
003_C大学医学部附属病院	679	3174	16	2522	507	999	652	8549
総計	5660	17680	561	5941	1457	4793	1467	37559

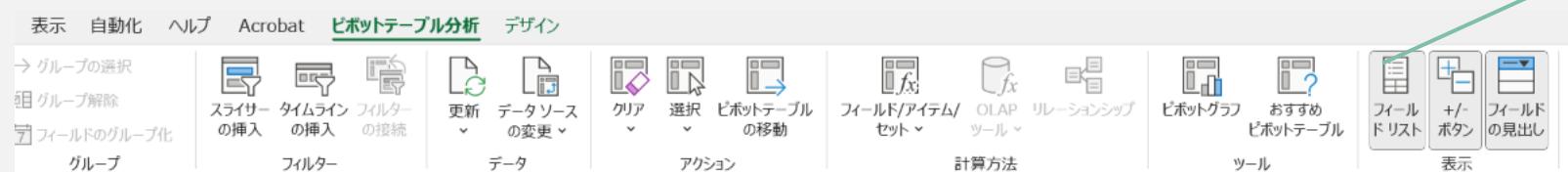
ポイント

- 提供を受けたデータは把握できることが限られているので、分析の前に提供された各データセット、表、データ項目を把握し、適した表を選択できるようにしておく。
- 配布された「院内がん登録施設別集計データの概要」や、「院内がん登録 2023年全国集計 令和7（2025）年2月」を、参照する。

集計の一例 その1

② 目的に沿った表が閲覧できるように、データ項目を選択し表を更新する。

データセットA「A_基本図表」シート Excel上部のタブ



データセットA「A_基本図表」シート内 中段

都道府県	48_X県							
部位	(すべて)							
施設種別	(すべて)							
合計 / 件数	症例区分①							
施設名	10_診断のみ	20_自施設診断・自施設初回治療開始	21_自施設診断・自施設初回治療継続	30_他施設診断・自施設初回治療開始	31_他施設診断・自施設初回治療継続	40_初回治療開始後	80_その他	総計
001_A県立病院	748	2401	14	729	146	915	212	5165
002_B済生会病院	656	3307	53	886	123	183	69	5277
004_D市立病院	785	3090	12	635	230	442	114	5308
005_E大学医学部附属病院	1261	2594	257	579	197	936	237	6061
006_F赤十字病院	570	1444	112	396	57	56	14	2649
007_G個人病院	258	310	13	14	13	379	81	1068
008_医療法人H病院	363	510	84	84	143	420	75	1679
009_J町立病院	340	850		96	41	463	13	1803
003_C大学医学部附属病院	679	3174	16	2522	507	999	652	8549
総計	5660	17680	561	5941	1457	4793	1467	37559

フィールドリストあり

ピボットテーブルのフィールドで「フィルター」、「列」、「行」、「値」を変更すると、表も連動する。

ピボットテーブルのフィールド
レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

都道府県
施設名
施設種別
部位
性別
年齢
症例区分①
件数
他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

列
都道府県
施設種別
部位
性別
年齢
症例区分①
件数

行
施設名
合計 / 件数

値
合計 / 件数

レイアウトの更新を保留する

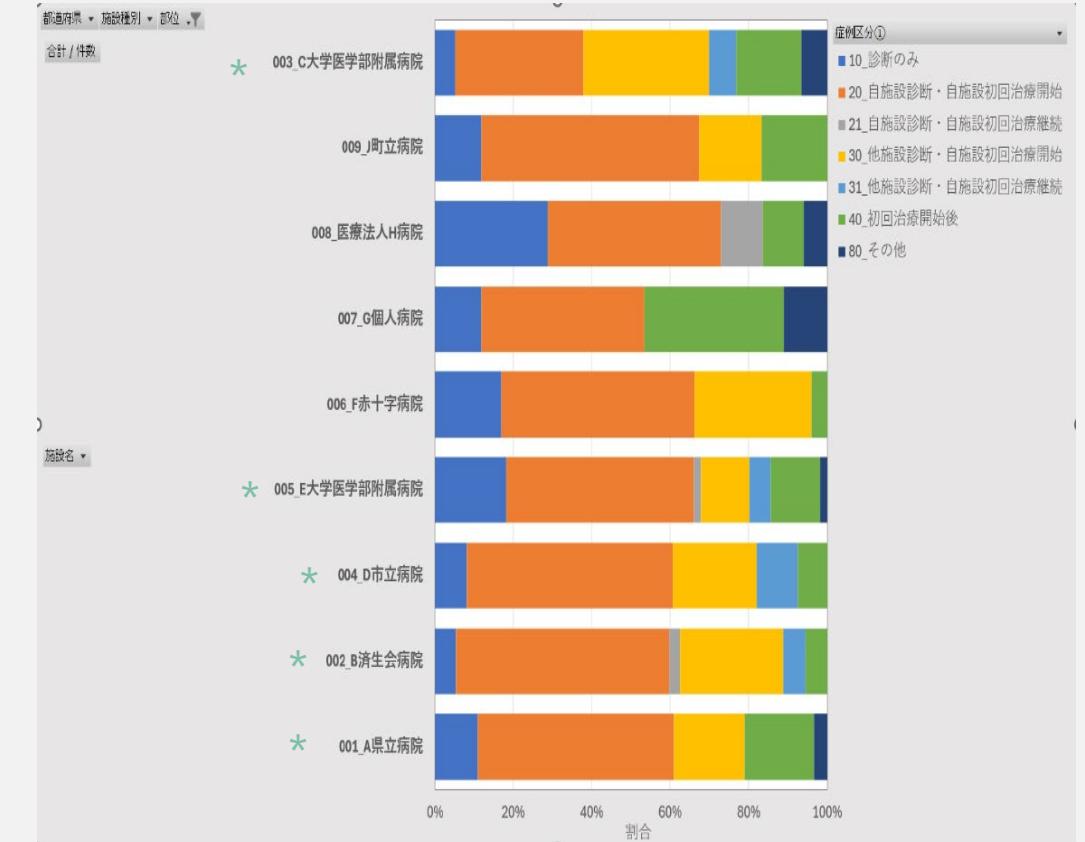
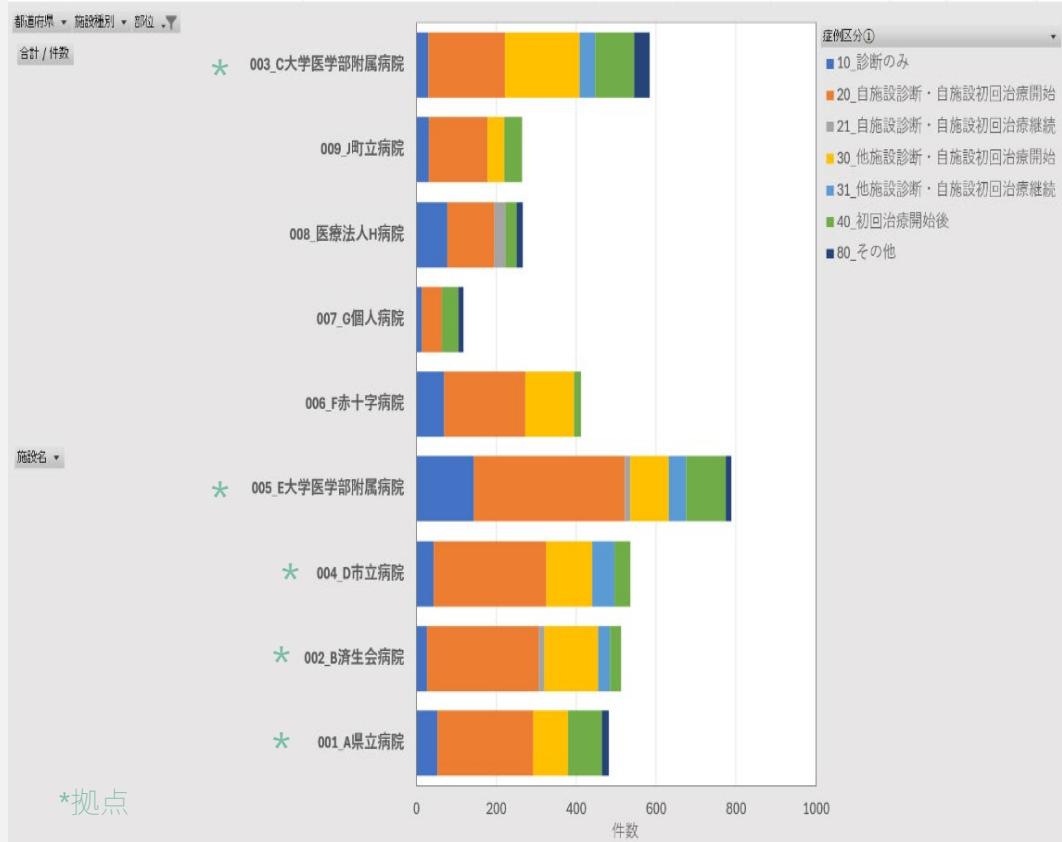
更新

値：合計/件数は固定

表、またはグラフで、表示するを選択可能。

集計の一例 その1

③ 更新した表から、各施設の現状等を把握する。



- 自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始は、拠点・非拠点病院の合計で23,621例あった。
- 非拠点病院における、自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始は、3704例（15.7%）あった。
- 拠点病院における自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始は、14,566例（84.3%）で多くを占めた。

さらにデータセットを活用するために

- 抱点病院における自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始は、**14,566例（84.3%）**で多くを占めた。

同じ表を用いて、抱点病院ごとのがん種別に自施設診断・自施設初回治療継続を見る。

各施設では、どんながん種が他施設から紹介されて初回治療しているのか推察する。

データセットC・治療方法別の表を用いて、各施設の治療の傾向を見る。

分析の目的

自県の均てん化を検討するにあたって、

診断から5カ月以内の症例（症例区分①）において、各拠点病院の自施設診断症例の患者は、どの医療圏に居住していたのか把握する。

分析の手順

- ① 目的に適したデータが含まれる、データセット・表を、A～Dから選択する。
- ② 目的に沿った表が閲覧できるように、データ項目を選択し表を更新する。
- ③ 更新した表から、各施設の現状等を把握する。

集計の一例 その2

① 目的に適したデータセットを、A～Dから選択する。

- A 基本情報（性、年齢、症例区分別）別 初回配布・追加配布あり
- B UICC TNM分類の治療前ステージ、術後病理学的ステージ、総合ステージ別
- C 治療方法別
- D 患者住所二次医療圏別** 初回配布・追加配布あり

データセットD 「施設別患者住所医療圏①」シート

施設名	患者住所医療圏	合計 / 件数						総計
		7777_県外	4801_あさがお圏	4802_いちょう圏	4803_もみじ圏	4805_すみれ圏	4806_たんぽぼ圏	
001_A県立病院		68	1042	125				12 1247
002_B済生会病院		14	1326	130	54	12		15 1551
003_C大学医学部附属病院		166	800	1322	1957	1195	587	1307 7334
004_D市立病院		42	139	158	691	152	12	251 1445
005_E大学医学部附属病院		56	28	141		694	139	96 1154
総計		346	3335	1876	2702	2053	738	1681 12731

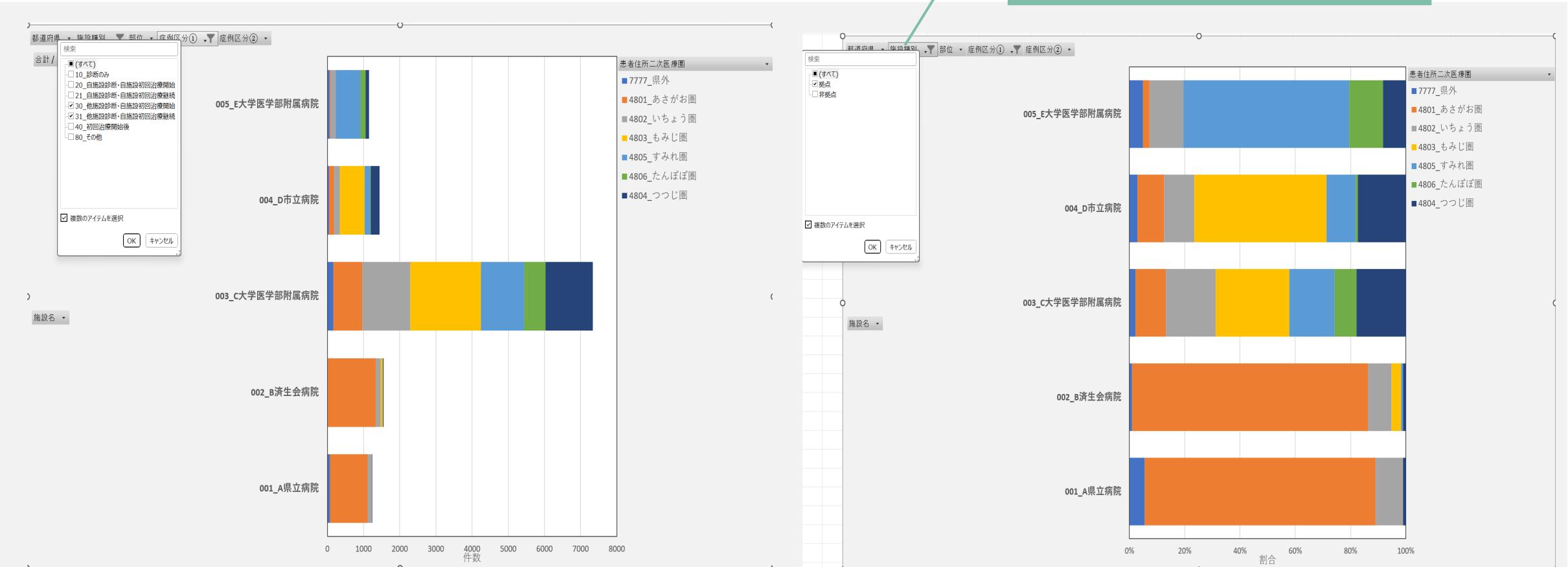
患者住所医療圏は、診断時に患者が居住していた住所から得た医療圏である。

集計の一例 その2

10

③ 更新した表から、各施設の現状等を把握する。

表のフィルター、グラフで表示する項目を選択可能。



- A県立病院とB済生会病院の他施設診断・自施設治療開始/他施設診断・自施設治療開始は、あさがお圏に居住の患者が大半をしめる。
- C大学医学部附属病院は、様々な医療圏の患者がいるが、E大学医学部付属病院はすみれ圏、D市立病院はもみじ医療圏が多い。

*拠点

さらにデータセットを活用するために

- ・各施設に絞り、データセットD「患者住所医療圏②治療内容別」で、がん種、治療方法別にどの医療圏の患者が多いのか把握する。
- ・自都道府県で、新たなピポットテーブルの作成して各施設の現状をより深める。

今後の展開

院内がん登録（施設別年次推移）のデータを、2025年度末頃にご提供させていただく予定で準備を進めております。

参考資料

「院内がん登録 2023年全国集計 令和7（2025）年2月」

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/pdf/2023_report.pdf